

JIMGAnews

第34号

平成28年度第1回部門理事会・評議員会合同会議および定時総会の開催について

平成28年度第1回部門理事会・評議員会合同会議について

5月27日、経団連会館にて平成28年度第1回産業ガス部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。今年度の活動方針などに関する間会長の挨拶の後、議長に選出された間会長の進行により、事務局より事業活動・計画についての報告が行われました。その他、入会希望事業者および次期評議員候補者に関する決議事項等、全ての議題が全会一致で承認されました。

定時総会開催について

6月14日、経団連会館にて部門総会・定時総会を開催しました。午前中に会長記者会見を開催し、午後はセミナー、第2回理事会、総会、第3回理事会および懇親会を行いました。

セミナーでは約150名の受講者を前に、北代部会長（技術・保安部会）の挨拶後、①「医療用ガス誤認防止に関するJIMGAと2学会の共同提言について」（(株)小池メディカル 技術統括部第二技術部部長 鈴木 義博氏）、②「産業・医療ガスの臭気問題に関するレポート」（日本エア・リキード(株) 産業監査部部長 農頭 重喜氏）、③「ISO 14000:2015改訂の概要」（高圧ガス保安協会 審査グループ 調査役 八代 勉氏）の3テーマで講演が行われました。

部門総会・定時総会では間会長の挨拶があり、部門総会における各部門の評議員候補の承認後、定時総会において、事業報告・計画、決算・予算、評議員・理事・監事の選任等、全ての議題が全会一致で承認されました。

引き続き表彰式を行い、当協会の活動において大きな成果をおさめた産業ガス部門、医療ガス部門のワーキンググループおよび事業所等への各功労賞・安全賞が発表され、会長より各受賞者へ表彰状と記念品が授与されました。受賞者一覧と表彰理由をP2～3に掲載しています。

懇親会は約270名が出席し、盛大に開催されました。間会長の挨拶に続き、厚生労働省梅田



間会長挨拶



受賞者の皆様

審議官、経済産業省福島審議官および高圧ガス保安協会市川会長による来賓の挨拶、今井副会長の乾杯で始まり、和やかに懇親会が進み、鈴木副会長の中締めによりすべての催しが滞りなく終了しました。皆様のご挨拶は9月末発行の「産業ガスレポート秋号」に掲載予定です。

(広報委員会事務局 石原 智子)

JIMGA平成28年表彰受賞者一覧 <産業ガス部門>

賞区分	受賞者名（敬称略）	表彰理由
標準化 功労賞	充填技術WG 農頭 重喜（WG長）、 小林 篤、田守 里志、柴田 展良、 中市 寛彦、吉田 智徳、金田 龍弘、 浜本 聖隆、石田 恒美、笠井 勇人、 加納 郁久、河野 直史、立花 靖司、 長家 茂、今村 信夫、伊達 恒雄	懸案であった「産業・医療ガスの臭気問題に関するレポート」として、現場で活用出来る形で纏めた。
	RFタグISO化グループ 三宅 博之、保坂 昭一、 沼田 博美、村上 泰之	JIMGA仕様のRFタグを国際規格化のため、国際会議及びISOのWG活動に参加し、ISO21007-2として規格化、発行された。
	IHC対応WG 石田 吉宏（WG長）、 嶋本 武治、水野 全	「酸素・酸素富化雰囲気における火災の危険性（国際整合化基準）」を保安法他を参照し、国内参考規格化した。
災害 功労賞	安全統計WG 加藤 保宣（WG長）、 山田 敏弘、矢内 敏彦、 細山田 学、田中 純一	労働災害統計報告書および高圧ガス事故統計を基に高圧ガスに係る労働災害の原因分析と対策事例を作成配信した。
保安教育 功労賞	炭酸ガス技術WG 菊池 義明（WG長）、 末松 寿、今村 信夫、木村 直彦、 賀陽 邦彦、松谷 孝史、細山田 学、 長谷川光一	全国にて開催された「第17回炭酸ガス保安講習会」のため、使用する4テキストを全面改訂し、説明資料や動画を編集した。
	小林 統 （中国地域本部炭酸ガス技術WG委員）	12年間に渡り、中国地域の炭酸ガス保安講習会の企画及び講師として、身近な事故事例等により、保安意識向上に成果を上げた。
安全賞	秋田液酸工業株式会社	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を38年継続している。
	エア・ケミカルズ株式会社 喜連川プラント	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を22年継続している。
	東京高圧山崎株式会社 埼玉工場	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を32年継続している。
	ガステックサービス株式会社 西三河配送センター	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を26年継続している。
	中京産商株式会社	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を40年継続している。
	株式会社名古屋サンソセンター	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を35年継続している。
	北越アセチレン株式会社	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を44年継続している。
	協和ガス株式会社 奈良工場	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を37年継続している。
	松山オキシトン株式会社 松山工場	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を34年継続している。
	株式会社おきさん 泡瀬工場	日々の保安教育を徹底し、無事故・無災害を23年継続している。

受賞総数：16件、受賞対象者：37名＋受賞事業所：10事業所

JIMGA平成28年表彰受賞者一覧 <医療ガス部門>

賞区分	受賞者名 (敬称略)	表彰理由
技術 功労賞	宇田川雅弘 (昭和電工(株))	7年あまりにわたり技術委員長を務め、技術的課題の解決、医療ガス学会・麻酔科学会との三者共同提言の合意の基本的項目の構築に貢献した。
標準化 功労賞	医薬品ラベル検討WG 瓦井 浩之 (WG長)、 杉浦 孝行、中島 昭人、高橋 進、 高澤 正樹、安田 匡、鈴木 義博、 伊達 恒雄	医療ガスの取り違え事故防止に向けて学会と合意した医薬品ラベルでのガス種確認を推進するにあたり、学会・協会双方の要求を満たす医薬品ラベルを制定、協会指針として発行した。
	自主基準検討WG 平尾浩二郎 (WG長)、 森山 秀樹、西本 敬輝、長谷川正泰、 土居 尚志、高橋 進、岡村 和也、 安田 匡、芳村 健治、瓦井 浩之、 伊達 恒雄	協会自主基準とPIC/S GMP Annex6 とのギャップを解消すべく厚労省と協議を重ね自主基準の改訂版を完成、厚労省から事実上の基準として同改訂版が全都道府県に発出された。
	医療ガス配管設備設計指針改訂WG 大杉 隆 (WG長)、 川西 裕治、須田 裕一、岡本 剛、 水谷 紀明、長島 健一、小松 友彦、 島田 孝、中本 秀邦、高澤 正樹、 木村 達也	JIS T 7101「医療ガス配管設備」の改訂を受けて、同設備の現在の技術基準を網羅して「医療ガス配管設備設計基準」の改訂を行い、医療ガス設備に携わる関係者の知識向上に貢献した。
	滅菌ガス分科会技術WG 芳村 健治 (WG長)、 中田 尚宏、山本 知行、柿崎 幸一、 嵯峨 孝一、江崎 保、北山 雅章	過去に制定した酸化エチレン滅菌ガスの安全データシート (SDS) をGHSと改正JISと整合性のとれた内容に改訂、ユーザー・事業者の安全向上に貢献した。
保安教育 功労賞	佐藤 佳史 (株)特殊ガス商会	12年間技術委員として中国地域本部の草の根の開催を主導し自らも講師を務めるなど保安教育に貢献している。
安全賞	株式会社サイサン 医療ガス部埼玉営業所	33年間無事故無災害を継続、東日本大震災時には医療ガス搬送で貢献し、埼玉県と災害時協定締結の折衝を行い、防災訓練にも積極的に参加している。
	株式会社小池メディカル 白井工場	27年間無事故無災害を継続し、可燃性・毒性ガスを対象とした防災訓練・トレーニングを消防と連携して実施している。
	宇野酸素株式会社 金沢営業所	35年間無事故無災害を継続し、社内保安技術の向上に努め、地域の事故防止活動をリードしている。
	四国液酸株式会社	25年間無事故無災害を継続し、社内の安全教育・防災訓練を徹底し、地域の保安活動の範となっている。
	四国大陽日酸株式会社 徳島営業所	21年間無事故無災害を継続し、医療ガスの安定供給に努め、災害時協定締結にも貢献した。

受賞総数：11件、受賞対象者：39名＋受賞事業所：5事業所

会員紹介 ー宇野酸素株式会社ー

宇野酸素株式会社は、北陸地方で最初の酸素ガス販売商として1924年（大正13年）に、福井県武生市（現 越前市）において営業を開始しました。1981年（昭和56年）には、宇野酸素として社名変更し、以来、北陸を中心に地域に密着した高圧ガスの製造販売と溶材機器等の販売を主として事業を展開するとともに、ガスの製造から消費に至るまでの諸問題解決のために専門のスタッフの育成に力を注いでまいりました。

これにより当社は、幅広い分野（食品、医療、化学工業、半導体関連、鉄工、自動車等）において、ガス関連設備から溶接ロボットやレーザー加工機の提案、設計施工、メンテナンスに至るまで、常にお客様の視点に立ち、お客様に喜んでいただけるガスソリューションの提供ができる体制を整えております。

私達は、高圧ガスを取り扱う企業として、社会的使命と責任を自覚するとともに、安全と環境に配慮した「責任ある」「信頼を受ける」活動に積極的に取り組んでいます。

事業展開

平成14年以降は、溶材部、メディカル事業部、エンジニアリング部を立ち上げ、専門分野に対応できる営業力と技術力の強化に注力し、ガスをコア事業としながら、多様化するユーザーのニーズに応えられるよう取り組んでいます。また、高度化するニーズへの対応、品質確保への取り組みとして、当社の主要事業所である金沢営業所および福井営業所において、高圧ガスの製造販売におけるISO 9001認証を取得しております。



金沢営業所の充填工場



福井営業所の充填工場

JIMGAとの関わり

現在、JIMGA北陸地域本部として、北陸における産業・医療ガスの供給を通じて、産業・経済の発展貢献と、安全と保安の確保に向けた取り組みを行っています。また、JIMGA本部の技術・保安部会の充填技術WGへの参加や、JIMGA主催の高圧ガス消費者保安講習会に講師を派遣し、高圧ガスの安全な取り扱い方法の周知と教育を実施しております。

（宇野酸素株式会社 代表取締役 谷屋 五郎）

パリ（AFNOR）でのISO会議について

2016年6月、パリ（AFNOR—フランス規格協会）で開催されたISO TC220会議に出席しました。

今回は出発直前に、パリでの洪水、ストライキの情報がありましたがISO事務局からは中止の連絡もなく、予定通り会議参加のため渡航いたしました。

洪水によりセーヌ川の水位はいつもよりかなり上がっていましたが、滞在中に我々への影響はありませんでした。しかし、鉄道のストライキにより普段はホテルから会場のAFNORまで30分弱で行けるところが3時間もかかり、現地フランスからの参加者も会議開始時間に遅れるなどの影響はありましたが、3日間の会議は予定通り終了することができました。

ISO TC220では超低温容器に関する国際基準が議論されます。設計および構造（Design and construction）を担当するWG-1では、ISO 20421-1「超低温貯槽—大型可搬式真空断熱貯槽—第1部：設計、製作、検査及び試験」について、国連モデル規制で引用するよう新たな提案が行われました。CD（委員会原案）文書が2件、DIS（国際規格原案）文書が1件、FDIS（国際規格最終原案）文書が1件承認されました。運用要件（Operational requirements）を担当するWG-2では、DIS（国際規格原案）文書の2件が承認されました。関連機器（Supporting Standards）を担当するWG-3では、新たな規格検討が1件提案された他に、日本では基準のない高圧ガス用フレキシブルホースについて、ISO21012で検査基準の内容・方法などが細かく議論され、CD（委員会原案）文書として承認され次のステップに進むことになりました。

次回は、来年6月7日からアメリカCGA（Compressed Gas Association）で開催される予定です。



水位の上ったセーヌ川



TC220会議の様子

（技術・保安部会事務局 徳富 栄一郎）

医療ガス部門 常務理事紹介



名 前： 瀬戸 昭則（せと あきのり）
現住所： 東京都 西東京市
出身地： 神奈川県
生年月： 1958年1月

略 歴：

1976年4月 国立療養所箱根病院（厚生事務官）採用
1979年4月 関東信越地方医務局
1983年7月 厚生省（現厚生労働省）
2004年4月 国立病院機構本部資金課長
2005年4月 厚生労働省医政局国立病院課長補佐
2006年4月 近畿厚生局総務課長
2009年4月 厚生労働省医政局政策医療課職員厚生室長
2010年4月 国立病院機構水戸医療センター事務部長
2012年5月 国立病院機構本部近畿ブロック事務所統括部長
2014年4月 国立病院機構東京医療センター事務部長
2016年3月 退職
2016年6月 JIMGA常務理事

抱 負： 本年3月末まで40年に亘り厚生労働省の仕事に携わってきましたが、その大部分は国立病院の関係でした。医療技術等の進展により年々、医療機関における「医療安全管理」は極めて重要なものとなっております。医療ガスの取り扱いも同様であると認識していますが、医療ガスに関してはまだまだ知識不足です。当分の間は、ベテランの前任と比較すると「超」がつく程の微力だと思いますが、一日でも早く皆様のお役に立ち、安全で健全な医療ガス事業の発展に努力する所存ですので、よろしく願いいたします。

趣 味： 各地でSL（蒸気機関車）が復活してきたことから、年に数回、爆煙を出しながら大きな汽笛を鳴らし、力強く走る姿を観に（撮りに）出かけ、リフレッシュしています。

e-ラーニング

近日公開予定！

「高圧ガス安全基礎知識」をリニューアルしました！

ぜひ、ご活用下さい。

JIMGA 技術・保安部会
教育研修WG